

特別支援学級 第5学年 社会科学学習指導案

日時 令和5年8月31日(木)5校時
児童 特別支援学級5年 3名
指導者

1 単元名 「これからの食料生産」(教育出版5年 p.108~117)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領の第5学年の内容の(2)ア(ア), イ(ア)を受けている。米づくりや水産業の学習、自分たちの食生活を振り返り、これからの食料生産に対する自分の考えをまとめていく学習である。

(2) 子どもたちについて

社会科や国語の一部の単元では、2つの支援学級の児童と一緒に学習している。3名とも資料から数値や事象は読み取れるものの、複数の資料を比較・関連させたり、生活と結び付けて考えたりすることが苦手である。また、他者の立場を思いやることにも困難さがあり、話し合い活動が成立しにくい。支援学級内でも同学年の児童と一緒に学習することで、話し合い活動や教科学習の充実につなげたいと考えている。

(3) 指導にあたって

学習内容や使用する資料を精選し、提示の仕方を工夫することで、日常生活やそれぞれの興味・関心、学習内容を絡ませながら、「生産者」と「消費者」の両方の立場にしっかり触れたり、自分たちにできることを具体的に考えさせたりしていきたい。また、話し合い活動を充実させ、自分の考えを伝えたり、他者の意見を否定せずに聞いたりする力を社会科でも意識して身に付けさせたいと考えている。

3 単元の目標と評価規準

(1) 我が国の食料生産の概要やその重要な役割について理解するとともに、資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けようとする。 [知識及び技能]

(2) 食料生産や輸入の課題を把握し、その解決に向けて多角的に考える力、考えを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 [思考力、判断力、表現力等]

(3) 我が国の食料生産や輸入について主体的に学習問題を解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い将来を担う国民としての自覚を養う。 [学びに向かう力、人間性等]

【知識・技能】① 資料等を正しく読み取り、食料生産の概要を理解している。

② 調べたことを文や表などにまとめ、我が国の食料生産の果たす役割を理解している。

【思考・判断・表現】① 問いを見出し、食料生産の概要や役割について考え、表現している。

② 学習したことをもとに、これからできることを多角的に考え、表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

① 予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

② 学習したことをもとに、これからの食料生産について多角的に考えようとしている。

4 単元の指導計画(5時間)

時	学習活動	評価の観点
1	食料の輸入の現状について複数の資料から調べ、気になったことやさらに知りたいことを出し合い、学習問題をつくる。	【思判表】① 【態度】①
2	食料の輸入がもたらす影響について複数の資料から調べ、輸入の長所と短所について整理して考える。	【知技】①
3	国内の食料生産を発展させていく取り組みの例を資料から見つけ、安定的な食料の生産や確保のために大切なことを整理して考える。	【知技】②
4	これまでの学習を整理し、これからの食料生産や食生活について、自分の考えをまとめる。	【思判表】② 【態度】②
5		

5 本時の指導(2/5)

(1) 本時における児童の実態と目標(上段：社会科に関するもの 下段：自立活動に関わるもの)

	児童の実態	本時の目標	支援・手立て
A (情)	資料を正しく読み取ることができる。 自分の考えを話すことに抵抗がある。	複数の資料を正確に読み取り、食料輸入の長所と短所を整理しながらまとめる。 自分の考えを発表する。	必要な時に、どの資料を比較したり関連させたりするといいか助言する。 話したくない時は、提出したカードを教師が読み上げる。
B (情)	世の中のことに興味・関心が高い。資料集を見ていると、関係ない資料が目が行ってしまう。 自分が思ったことをすぐに口に出してしまう。	資料を正確に読み取ったり、食料輸入の長所と短所を見付けたりする。 最後まで他者の意見を聞いてから質問や意見を述べる。	ロイロノートで送る資料は、本児の考えやすいものから順に並べておく。 意見を出し合う前に話し合いのルールを確認する。
C (知)	発言は活発だが、文脈に沿った発言は苦手である。 他者の気持ちや考えを理解することが難しい。	資料を正確に読み取る。 他者の意見の良いところを見付ける。	どこに着目すればいいかヒントを出す。 他者の意見を認める発言やつぶやきがあった時はすぐに褒める。

(2) 指導の構想(「つなぐ」視点と ICT 活用について)

〔教材とつなぐ〕資料を読み取る場面では、ロイロノートで1つずつ提示する。視覚的な刺激や情報量を調整し、数値や事象から分かることを確認していくことで、子どもとテキストをつなぐ。

〔他者とつなぐ〕資料から読み取ったことや自分の考えをロイロノートで提出させる。提出させたカードを共有し、自分と友達の考えを比較させ、子どもと子どもの考えをつなぐ。

(3) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点 (・支援 ○社会科の評価 ●自立活動的な評価)			準備物 ICT 活用
		A	B	C	
導入 3分	1. 前時の学習を振り返る。 2. 本時の課題を把握する。 ・ 資料ア(国産と外国産の値段)を見ながら、食料輸入の良さや問題点を考える。	・ 自分のノートを振り返らせる。 ・ 1枚目の資料を全体で確認し、問題意識や活動の見通しをもたせる。	・ 前時の板書をモニターに提示し、学習した内容を想起できるようにする。 ・ 1枚目の資料を全体で確認し、問題意識や活動の見通しをもたせる。	・ 前時の板書をモニターに提示し、学習した内容を想起できるようにする。 ・ 1枚目の資料を全体で確認し、問題意識や活動の見通しをもたせる。	・ 前時の板書 (モニター) ・ 資料 (ロイロノート)
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ㊦ 食料輸入には、どんな長所や短所があるのだろう。 </div> 3. 見通しをもつ。 ・ まとめの型(食料輸入の長所は～で、短所は～である)やカードの書き方を知る。	・ まとめの型を示すことで、本時のゴールを明確にする。	・ まとめの型を示すことで、本時のゴールを明確にする。	・ まとめの型を示すことで、本時のゴールを明確にする。	・ 資料 (ロイロノート) ・ ワークシート
終末 12分	4. 教師が提示した資料の中から自分で資料を選択し食料の輸入の長所と短所を考える。 5. 資料から考えたことを発表し、全体で長所と短所を整理していく。 6. まとめをする。 7. 本時の学習について振り返る。	・ 早く終わったら、シンキングツールで整理させる。 ・ 話したくないときは、教師がカードを読み上げる。 ○複数の資料を正確に読み取り、食料輸入の長所と短所を整理しながらまとめている。【知技】 ●自分の考えを発表しようとしている。	・ 取り組みやすそうなものから1つずつ考えていくように促す。考えはワークシートに書かせる。カードの提出は、その写真でもよいことを伝える。 ・ 話し合いのルールを確認する。必要な時は掲示もする。 ○資料を正確に読み取ったり、食料輸入の長所と短所を見付けたりしている。【知技】 ●最後まで友達の意見を聞いてから質問や意見を発表しようとしている。	・ 選べないときは、教師の方から取り組んでほしいものを1～2つ示し、着目してほしい部分に印をつける。 ・ 友達の意見には反応するように声がけをする。適切に反応した時は褒める。 ○資料を正確に読み取っている。【知技】 ●他者の意見の良いところを見付けようとしている。	・ カード ・ シンキングツール ・ シンキングツール